

2024 年度団体向け

たかはら子ども未来基金

学生 NPO インターン助成 募集要項

*今年度は 9~2 月（12 日以上）の活動です

団体の申込締切 2024 年 5 月 24 日（金）<必着>

学生の申込締切 2023 年 7 月 19 日（金）<必着>

1. たかはら子ども未来基金とは

たかはら子ども未来基金とは、子どもや若者の未来を応援する目的で、2017 年に矢板市在住の夫妻が設立した基金です。現在、家庭の経済的困窮が要因となり、子どもや若者の「未来への可能性」を奪う様々な不利が生じています。境遇や生育環境に関わらず、全ての子どもや若者が等しく人生を拓く機会を得られるように「たかはら子ども未来基金」が創設されました。若者の中には、奨学金の事情やアルバイトのために、ボランティア活動ができない学生がおり、そのような学生を応援する目的で学生 NPO インターン助成が設立されました。特に栃木県北地域の子どもや若者を支えていくことを目指します。

2. 2024 年度の助成事業

学生 NPO インターン助成は、学生が一定期間、NPO や市民活動団体に就労体験すること(=NPO インターンシップ)を応援します。若者と団体が共に成長できる仕組みを作ることを目的としています。NPO インターンシップは、特に NPO 職員としてのボランティアな自発性や創意工夫が求められます。日常業務のサポートだけでなく、インターン生とともに既存の事業の発展や新規の事業の立ち上げを行える団体に助成します。

《助成額について》

- ・助成額 : 2024 年9月~2023 年2月の期間のうちの 12 日(96 時間)以上のインターンシップ活動に対して、学生に 60,000 円をお渡しし、団体に 40,000 円をお渡します。
- ・助成総額 : 1,000,000 円 (最大でインターン生 10 人分と団体 10 団体分)

3. 対象となる団体

子どもや若者の未来をつくる活動を支える団体。分野は問わない。

<例>

- ① 子どもの食事と居場所を支える活動をする団体・・・こども食堂の運営、新規設立など。
- ② 子どもの学習を支える活動をする団体・・・無料学習支援、学びなおしの支援など。
- ③ 子どもの体験を支える活動をする団体・・・自然体験や文化体験など子どもの心の成長を支える活動など。
- ④ 若者の社会参加や就労、生活を支える活動団体・・・居場所づくり、就労訓練プログラム、困窮学生支援など。
- ⑤ その他、若者とともに子どもや若者の未来をつくる次世代を育成するための活動など。

(1)助成する団体の条件

・営利を目的とせず、公益的・社会的な活動をすでに 1 年以上継続的に行っている栃木県内の NPO・市民活動団体・ボランティア団体(法人格の有無は問わない)

・県南をのぞく、栃木県内全域を対象とし、特に県北の活動団体を優先して助成します。

・対象となる市町:

矢板市、塩谷町、高根沢町、さくら市、大田原市、那須塩原市、那須町、那珂川町、那須烏山市

宇都宮市、上三川町、壬生町、日光市、鹿沼市、芳賀町、市貝町、益子町、茂木町、真岡市

(該当する地域に事務所がある団体か、地域で活動している団体に助成する)

(2)選考基準

前出の条件を満たす団体の中から、以下の選考基準で選考いたします。

1. 子どもや若者の未来の可能性を本気で応援したい団体
2. 地域で必要とされ、一般の人に開かれて参加できる活動であること
3. 助成を受けることで、活動の基盤を強化できる団体であること
4. 学生のインターンシップを受け入れる体制が整っている団体であること(学生が相談できるスタッフがおり、

活動の計画や実施、振り返り、改善をともに行えること)

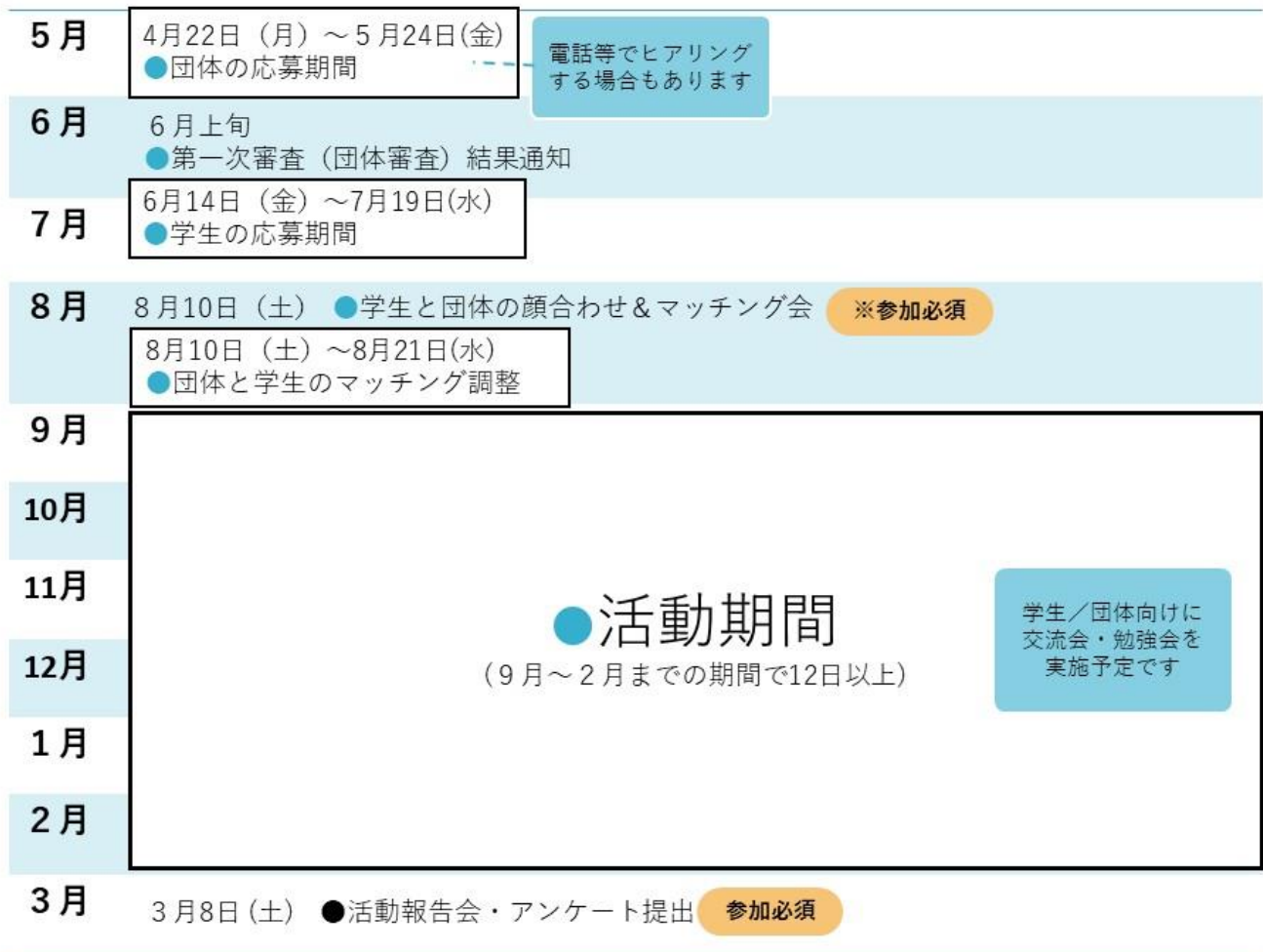
5. インターンシップの学生と一緒に、既存の事業の発展や新規の事業の立ち上げを行える団体であること
※初申請の団体を優先します。

4. 学生インターン部門の内容

学生のインターンシップの受入を希望する団体と、NPO 活動に関心の高い学生をマッチングします。

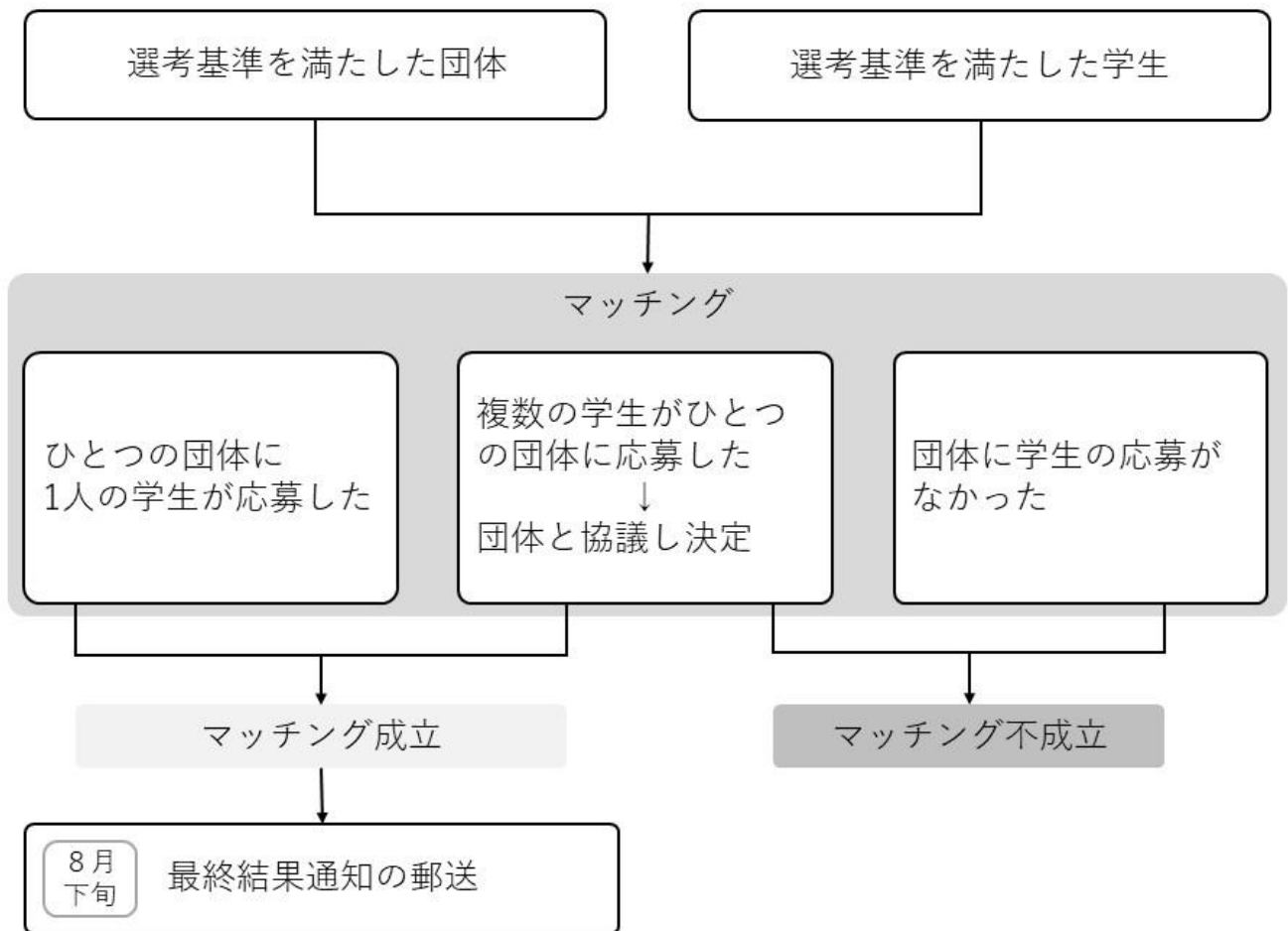
(内容)	
・6ヶ月間のうち 12日以上 (8時間×12日=96時間以上)、団体でインターンシップ活動を行っていただきます。 学生と相談しながら計画を立ててください。 例1) 毎月3日以上×4ヶ月(9月～12月) 例2) 毎月2日以上×6ヶ月(9月～2月)	
・学生インターン生は、1団体につき、1人までを助成します。2人以上の場合は、特別追加枠をご検討ください。	
・対象となる「学生」とは栃木県内の大学生、専門学生などの若者です(高校生以下を除く)。	
団体にとって	学生にとって
学生のインターン生を受け入れることで、活動に新たな視点が持てるほか、新しい年齢層の参加を増やしたり、未来の担い手を育てたりできるなど、活動を発展させることが期待できます。団体の内容をインターン生、さらにその友人に深く伝えることができます。	市民活動に参加できる機会が少ない学生が、スタッフの視点で関わることで、活動の背景や課題などを深く学ぶことができます。また、他の団体でインターンシップを行う学生と切磋琢磨しながら活動に取り組みます。

《学生インターン助成の選考の流れ》



《団体と学生のマッチングの方法について》

今年度は、最大でインターン生 10 人分と団体 10 団体分に対して助成します。



* 学生の募集について

インターン生の募集期間中は、団体の皆様にも学生への声かけのご協力をお願いします。

* 特別追加枠について

マッチングの時点で、団体への希望学生が多い場合には、団体が資金(1人あたり8万円)を用意すれば、学生にインターンシップに参加してもらえる「追加の枠組」です。オリエンテーションや振り返り会など、同じ枠組みで行います。

(想定される例)

→学生2人が団体Aにインターンを希望し、1人は助成金を通った場合、もう1人は特別追加枠として参加。

* 受入団体の担当スタッフの声 (一部抜粋)

- ・インターン学生が加わることで、活動の幅が広がった。これまで参加が少なかった年齢層が参加することで、一層盛り上がった。インターン学生がリーダーとなって、中高生のボランティアをまとめてくれた。今後も継続して、大学生や中高生との関わりを見出していきたい。
- ・本インターンをきっかけに、他の助成事業でも役割を担ってくれている。今後も期待できる人材に出会えた
- ・事前に活動に対しての目標を決め、それに基づいて活動することは、インターン生だけでなく団体側も刺激を受けることが出来た
- ・インターン生が居場所に通う子どもたち一人ひとりに寄り添い、子どもたちの話を聞き、理解しようとしている姿が多く見られました

5. お申込み・お問合せ

下記のとちぎユースサポーターズネットワークのアドレスにメールでお申し込みください。
ホームページから申請用紙のダウンロードができます。

《提出書類》 申請用紙、活動の様子が分かる写真やチラシ、パンフレットデータ等

《団体の申込締切》 2024年5月24日(金) <必着>

NPO 法人とちぎユースサポーターズネットワーク（事業事務局） 担当：渡邊、中山

- 住所 栃木県宇都宮市西原 1-3-4 aret
- 電話 028-612-1575
- メール ysn_office@tochigi-ysn.net
- OHP <https://tochigi-ysn.net/>



とちぎコミュニティ基金（認定 NPO 法人とちぎボランティアネットワーク内）

- 住所 〒320-0806 宇都宮市中央 2 丁目 7-6
- 開所 火～土 10:00～18:00（日、月、祝は休み）
- 電話 028-678-3155 / FAX 028-678-3176
- OHP <https://www.tochicomi.org/subsidy/takahara/>
- メール info@tochicomi.org

